
THE DEATH GAME

ヒューマンガス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

THE DEATH GAME

N1583M

【作者名】

ヒューマンガス

【あらすじ】

見知らぬ洋館内で目を覚ました早乙女乱馬はドクター・アシモフと言ふ名の人物からゲームを持ち出され、そのゲームに乗るが…。

ゲームの始まり（前書き）

「らんま1／2」を「バイオハザード」風にした作品です。

ゲームの始まり

「…………」は、一体…？」

見知らぬ屋敷の一室で早乙女乱馬は目を覚ました。
何故、自分はこんな所にいるのだろうか…。

そうだ、確かにあかね達と海水浴に来ていて…それから…。
すると、テレビが突如、映り画面上に一人の男性の顔が現れた。小
太りでサングラスをかけ、口髭を生やしていた。

「フフフフ…、お目覚めの様ね。ミスター・ランマ」

男性は外国人らしく、口調からにしてそれ系であった。

「何だ、お前は？」

「アタシの名はドクター・アシモフ。アンタをここに連れて来た張本
人よ」

「何だと！？」

「どーしてアタシがアンタをここに連れて来たか知りたいわよね。
いいわ、教えたあげる。

ただし、アタシのゲームに買つたらの話だけね」

「ゲーム？」

「ルールは簡単。アンタがここから脱出出来た勝ちよ」

「へつ、そんなルールでいいなら窓を割つて外に出ればいい。乱
馬は近くに置いてある椅子を掴むと、窓に投げつけた。
ガシャーンと言う音と共にガラスは割れた。

「へッ、ゲームは俺の勝ちの様だな。オッサン」

「すば抜けた運動神経の持ち主の乱馬は窓から身を乗り出し、外
に出ようとした。「ん、何だ。この声は？」

「見れば外には何体ものゾンビがいた。

格闘術は身に付けているもののあれだけのゾンビと素手で戦うのは
危険だ。

下手すれば感染しかねない。

「フフフフッ、飛び下りれば脱出したって事でアンタの勝ちだけど、待っているのは“死”よ」

アシモフの言つ通りだ、確かに飛び降りれば勝ちであるが、その同時にゾンビ達の餌食になるのだ。状況を考え乱馬は身を戻した。

「こらあ 一体どー言つ事だ！」

何故ゾンビがいるのだ。まさか…。

「それはゲームに勝つたら教えてあげるわ。さて、ランマ。そろそろゲームを始めましょうよ。

家族と許嫁も心配でしうよ。さあ、ゲームの開始よー。」

そう言つた瞬間、画面が消えた。「待てつ！」

既にテレビにはアシモフは映つてはいなかつた。

「クソ…ッ、脱出しきつて言われてもどうやつてすればいいんだよ…。ん？」

一台のロッカーを見付け開けると、中にはベレッタM92Fオートマチック式ハンドガンとスパス12ショットガンが入つていたとそれぞれの弾が入つっていた。

「なるほど、こいつを使って脱出しきつて訳か

乱馬はそれらを手にすると、一室から出た。アシモフが持ち出したゲームのルールは至つて単純であつたが、乱馬は未だこのゲームが決して単純ではないこと後に知る事になる。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1583m/>

THE DEATH GAME

2010年10月9日16時54分発行